

# 事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休み)  
午前 9:30～午後 3:30

No.194 2014年1月1日  
NPO 法人富山県腎友会事務局  
〒931-8443 富山市下飯野 70-4  
富山県身体障害者更生相談所内  
TEL: 076-407-5085  
FAX: 076-407-5086  
発行責任者 水本 承夫  
編 集 坂田 祐美  
定価 50 円(会費を含む)

## 早馬のごとく元気に力強く

事務局長 澤本 光廣

新年明けましておめでとうございます。会員皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年午年、「午」を動物にあてはめると「馬」になります。馬は古来より人間と親密に関わってきました。馬は「物事がうまくいく」、「幸運が駆け込んでくる」などと言われる縁起のいい動物です。また、馬に関する故事、ことわざも数多くあります。「人馬一体」「馬には乗ってみよ人には添うてみよ」「馬が合う」「竹馬の友」「秋高馬肥ゆ」などはほんの一例です。馬の飛躍する力強いエネルギーにあやかりたいものです。

さて、私達のとりまく情勢は、年々厳しさを増しています。糖尿病の合併症として透析患者が急増しています。加えて、透析導入年齢の高齢化、障害の重度化、重複化で日常生活や、通院に介護が必要な患者が増加するなか、介護を必要とする全ての人に、公的な責任において介護が保障される運動への取り組みが重要になってきました。

政府は昨年末に 2014 年度の診療報酬改定で、0.1%引き上げることを正式に決定しました。しかし、4 月に実施される消費税増税分を考慮すると実質 1.26%の引き下げとなり、そのツケが直接、患者に影響を及ぼすことのないよう注視する必要があります。

また、ここ 10 年間の年間の透析医療費は 1 兆 2 千億円から 1 兆 5 千億円程度にとどまり、ほぼ横ばい状況にあります。一方、透析患者数は 10 年前の 23 万人から 31 万人に急増しております。このことは、おのずと透析時間の短縮、夜間透析の廃止、検査項目の減少などにより、私達の生活の質的低下を招いているのです。

このことから、私達は馬から力強いエネルギーを宿し、腎臓病患者が安心して生活していけるよう、全国の仲間が一丸となって、患者会組織を充実させ、実効性ある運動を展開していく必要があります。

結びにあたり、会員皆様、そしてご家族皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



## iPS 細胞から腎臓組織

12 月 13 日(金)新聞等の報道によると、熊本大学の西中村隆一教授(腎臓発生学)らの研究グループが、ヒト iPS 細胞(人工多能性幹細胞)から立体的な腎臓組織を作ること初めて成功したそうです。

### 【熊本大学発表による今回のポイント】

1. 腎臓の大部分は胎児の下半身の元となる特殊な細胞(体軸幹細胞)に由来することを発見
2. 胎児の体軸幹細胞から腎臓の元となる細胞(腎臓前駆細胞)を作成するのに必要なたんぱく質(成長因子)の組み合わせを同定
3. マウス ES 細胞とヒト iPS 細胞から試験管内で腎臓前駆細胞を作成する方法を確立し、世界で初めて「糸球体」と「尿細管」を伴った 3 次元の腎臓組織を作成することに成功

※糸球体:血液をこして尿のもとをつくる ※尿細管:栄養や水分を再吸収する

今回作られた腎臓組織は 3 ヶ月の胎児程度の大きさで、尿をつくる機能は確認できなかったことから、今後完全な腎臓を作るにはさらに研究を進めていく必要があるそうです。

腎臓は複雑な構造を持つため、網膜、心臓などに比べ再生医療の研究は困難といわれてきましたが、今回の成功をきっかけに再生医療さらには腎臓病の解明、新薬の開発が一気に加速することを期待したいものです。



### 【報告】糖尿病・腎臓病講演会 in 黒部

12月15日(日)黒部市民会館で開催した講演会には一般市民や腎友会会員・家族など82名が参加しました。(共催:協和発酵キリン株式会社)

講演会では、黒部市民病院 内科部長・腎センター長 吉本敬一先生が『新たな国民病「慢性腎臓病」～保存期から透析、腎移植まで～』、同院 栄養科 管理栄養士 飯野みゆき先生が『毎日の暮らし、食生活で気をつけること』と題してそれぞれお話いただきました。

参加者からは「医療用語をなるべく使わず、基本的な事から説明して下さったので分かりやすかった」、「腎臓病の段階に合った検査や判断、治療について理解できた」、「食生活の改善に心がけたい」、「病気の人だけでなく若い人にもきかせたい」等の感想が寄せられました。



### 【報告】クリスマスパーティー

12月8日(日)カナルパークホテル富山にて開催され、会員、家族等19名が参加しました。

今回も美味しい料理をいただきながら2時間程歓談したのですが、お互いの治療や今後の腎友会活動等について語り合い情報交換する貴重な場となりました。



### 今後の予定

- 全腎協 108 回理事会 1/11~12 東京
- 役員選考委員会 1/19 富山市総合社会福祉センター
- 全腎協 109 回理事会 2/15~16 東京
- 第 27 回理事会 2/23 富山市総合社会福祉センター



### 【報告】富山県透析・腎移植研究会

12月8日(日)ANAクラウンプラザホテルで開催された研究会には、医療関係者等39名が来場し、当会の水本会長も出席されました。

今回の研究会では、

- ① 最近の腎移植の現状
- ② 経皮的血管形成術により移植腎機能廃絶を回避しえた献腎移植の1例
- ③ 腹膜透析患者へのネスプ使用経験

について、医師あるいは移植コーディネーターなどから報告がありました。

また、大阪大学大学院医学系研究科 先端移植基盤医療学 教授で、今年度はアジア移植学会会長も務められた高原史郎先生による「腎移植の成績は本当に良くなったのか?」と題した特別講演があり、腎移植の成績を良くするには、血圧を安定させること、決められた免疫抑制剤を服用することが大切であるなど分かりやすくお話されました。

### 【報告】高岡地区 透析食調理実習

高岡地区腎友会では、12月22日(日)高岡市ふれあい福祉センターにおいて透析食調理実習を開催し15名が参加しました。

今回も厚生連高岡病院の管理栄養士さん2名にご指導いただき、「ハーブ鶏と木の実とライス入りソテー」、「スパゲッティの和風ドレッシング和え」、「ご飯団子入りスープ」、「白菜の変わり和え」、「ベリーベリーゼリー」のクリスマスを意識したメニュー5品を作りました。



### 災害見舞金支給

去る11月25日(月)午前1時45分頃に発生した魚津市本町の火災(22棟全半焼)で被災された会員さんへ、今回は特別に類焼であり自然災害に準ずるとして持ち回り理事会で決定し、お見舞金5万円をお渡しいたしました。

### おくやみ

- 吉井 彦雄 殿 かみいち総合病院 享年83歳
- 山本 きみ 殿 黒部市民病院 享年88歳
- 老田 ユキ子 殿 個人会員 享年78歳
- 山崎 忠義 殿 黒部市民病院 享年80歳
- 高木 すみ 殿 あさなぎ病院 享年85歳
- 東 富子 殿 高陵クリニック 享年79歳
- 松井 小春 殿 河合内科医院 享年77歳

謹んでご冥福をお祈り致します